

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

高周波光デバイス製作所は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は極めて大きい。

当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。

「三菱電機グループ第7次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

【重点項目】

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。

(1) 生産時 CO2 排出量削減推進 (売上高原単位 11 年度比 4 %削減、 11 年度排出量実績の 2 %削減)

(2) ゼロエミッション (直接埋立ゼロ) の維持継続と環境負荷低減及び費用改善

(3) 環境マインド育成を基にした化学物質使用量の削減、ならびに遵法対応処置

(4) 環境配慮設計 (DFE) の推進 [DFE: Design For Environment]

(5) 環境負荷低減の推進

2. 環境関係法、条例及び高周波光デバイス製作所が受け入れた協定等の要求事項を遵守する。

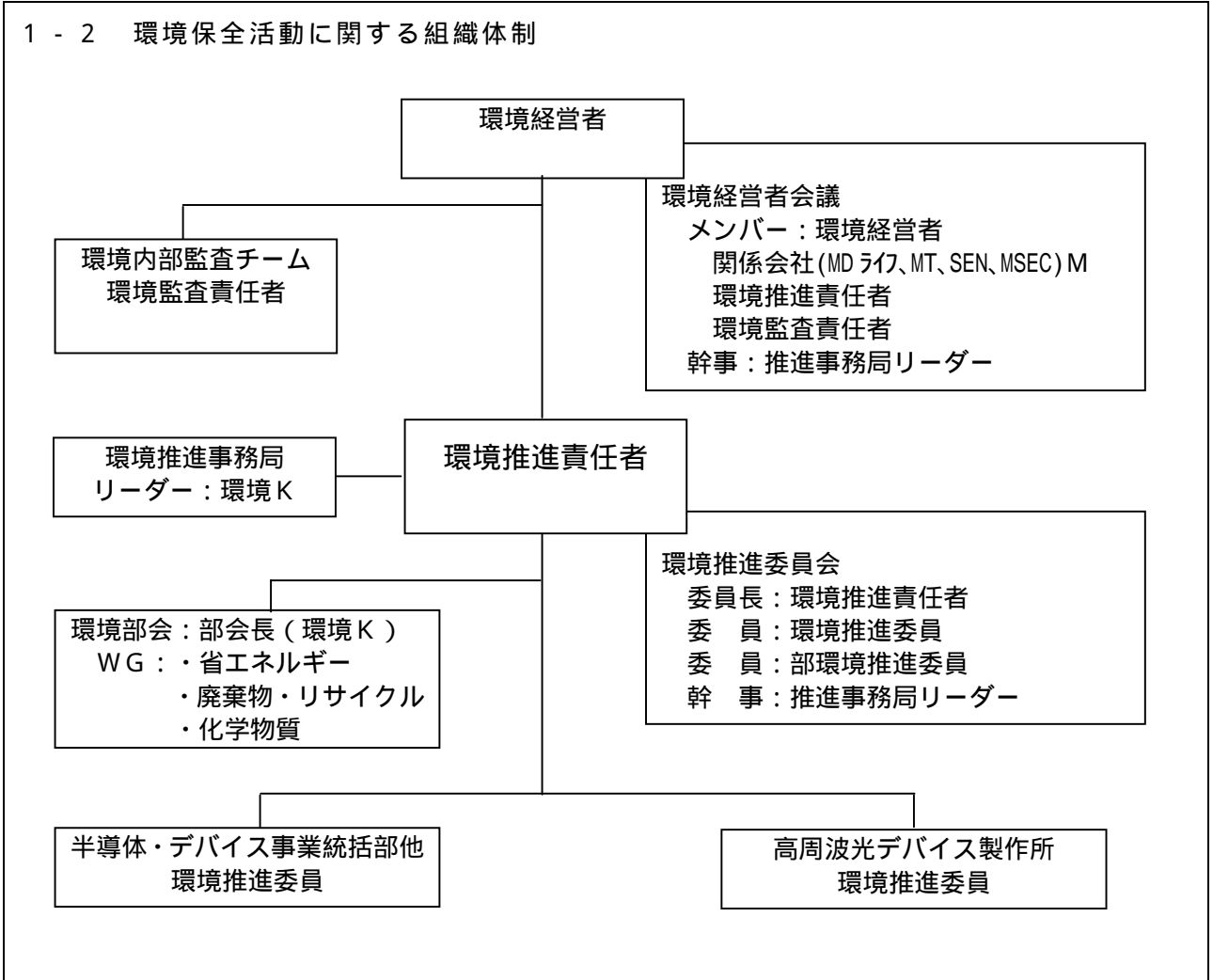
3. 風致地区にある当所周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図り、生物多様性の保持に努める。

4. 当所外の波光电関係会社の環境管理についても、環境監査等を通じて管理活動を支援する。

5. 当所内関係会社を含む全従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により、家族を含めた環境意識の向上を図る。

この環境方針は当所外へ公開する。

別紙 2



別紙 3

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<p>下記取り組みを実施し、11年度目標（エネルギー起源CO2を560 t - CO2削減する）に対し、達成は754 t - CO2であった。また、09～11年度で2,200 t - CO2削減の目標に対し、2,412 t - CO2の削減となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N V L 棟 2 F 循環空調機停止 ; 392 t - CO2 ・ 蒸気送気圧の低減 (0.6MPa 0.45MPa) ; 118 t - CO2 ・ 生産性向上による CO2 削減 ; 244 t - CO2 	<p>全社目標である生産時CO2削減（エネルギー起源CO2を生産高原単位で前年度比4%削減）、また半導体事業本部目標である生産時CO2排出量削減（エネルギー起源CO2を前年度比2%削減）に向けた省エネ活動の推進</p>
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロエミッションの継続 ・ 廃バッテリーの有価物化 ・ 廃棄物授受管理（発生～保管～処理委託）の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロエミッションの継続 ・ 廃油、廃酸の削減 ・ フッ素汚泥の削減
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001認証取得（1997年） ・ ISO14001更新審査認証取得（以後3年毎、最新2009年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マネジメントシステムの維持向上
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に関する従業員教育を実施（1回/年講演会形式で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に関する従業員教育の充実を図る
地域社会活動 への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場周辺の有志での清掃活動（1回/月） ・ 工場周辺の社員での清掃活動（1回/年） ・ 桜を育てる会（有志）参加 	<p>左記活動の継続を通じ、生物多様性の保全に努める</p>